

○防災訓練の実施内容

本会議中の大規模地震発生を想定した訓練

【想定】

- ・本会議中に緊急地震速報の放送
- ・高知市を含む県内広域で震度6強の地震を観測
- ・議事堂の被害少（耐震改修している議会棟内にとどまることは危険とまではいえない状況）。しかし、本会議場は柱が少なく、天井からの落下物（ガラス等）の可能性があるため、避難が必要
- ・地震発生直後に大津波警報の発表（付近の津波想定到達時間：発生後60分以上、津波浸水想定深度：0～30cm）
- ・議会棟の倒壊の危険及び火災の発生はなく、津波の浸水深度も浅いため、避難先は議会棟3階を想定

【流れ】

①(模擬)本会議開会

②緊急地震速報の発令（※訓練用音源）

③(模擬)本会議中断、安全確保

- ・議長から「身の安全の確保」について発言
- ・議員等は、ヘルメットを着用して身を守る姿勢をとり、揺れに備える。
- ・議場からの避難経路の確保（出入口の開放）

※4箇所（議場東側、西側にある全6箇所の出入口のうち、北側及び中央の4箇所を開放）

④地震発生（訓練用音源）（「速報」から10秒後、50秒間の揺れ）

※停電発生を想定

⑤議長からの議場内の安否確認、情報収集（地震情報、避難場所・避難経路の安全確認）及び負傷者対応

- ・事務局職員から議長へ報告

⑥避難

- ・議長から「避難」の指示
- ・議員は、第3委員会室へ移動（事務局職員が誘導）
- ・傍聴者及び図書室利用者は、第2委員会室へ移動（事務局職員が誘導）

⑦避難完了、事務局職員による安否確認

⑧今後の本会議運営についての協議等

- ・正副議長と議会運営委員会正副委員長の協議
- ・本会議の再開、議長から地震関連情報の説明
- ・会期の延長・休会及び延会についての議決

防災訓練の取材場所について

報道陣取材場所



記者席



健康政策 部長	危機管理 部長	理事(人口減少・ 中山間担当)	総合企画 部長	副知事	知事
観光振興 スポーツ部長	商工労働 部長	産業振興 推進部長	文化生活 部長	子ども・福祉 政策部長	総務部長
公営企業 局長	会計管理者	土木部長	水産振興 部長	林業振興・ 環境部長	農業振興 部長
(副部長等)	(副部長等)	(副部長等)			
(副部長等)	(副部長等)	(副部長等)	(企画監(執行管理・ 調整担当))	(財政課長)	(秘書課長)

演壇

議長 議会事務局長

教育長	公安 委員長	警察本部長	代表 監査委員	人事 委員長	(選挙管理 委員長)
-----	-----------	-------	------------	-----------	---------------

議会事務局	(教育次長)	(警察本 部部長)	監査委員 事務局長	人事委員会 事務局長	(選挙管理 委員会書記)
-------	--------	--------------	--------------	---------------	-----------------

議会事務局

連絡員



報道陣取材場所